



朝東っ子だよ

令和7年9月号 令和7年9月1日発行
川口市立朝日東小学校

【学校教育目標】よく学ぶ子 心の豊かな子 じょうぶな子 児童数 1年生47名 2年生68名 3年生57名 4年生56名 5年生54名 6年生57名 計339名

家庭、地域で過ごした力を最大限に

～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 朝日東小の子 ～

校長 春川 嘉孝

339名の「朝東っ子」が、家庭・地域の中で過ごし、充実した夏休みから、元気に登校してきました。「実りの時期」となる二学期がスタートしました。今年は一学期から気温の高い日が続き、体調管理の面でも保護者、地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。



さて、7月の便りでも紹介いたしましたが、職員玄関前の「ブドウの木」は、車椅子用スロープ設置工事のため、地域の造園業者さんが、暑さ厳しい中、一日がかりで、中庭に移植作業をしてくれました。「細かい根がたくさん残っていたから、来年は厳しいかもしれないけれど、しっかり実をつけてくれると思うよ」と力強い答えが返っていました。

8月2日、本校を会場に朝日東地区の皆様が一堂に会した「納涼盆踊り大会」。児童が楽しく参加する姿、自作ポスターの掲示板で写真を撮る姿。皆がお祭りの開催をお祝いしている様子がありました。7月21日からの「夏休み子どもサロン」では、延べで500名を超える児童が参加しました。それを支えるボランティアの皆さんも同数以上。子供たちが安心して過ごせるよう朝早くからの準備、温かい支援、おいしく、工夫されたお昼ご飯。ボランティアの中には、本校を卒業した学生も大勢。自分もお腹が減っているだろうに、子供たちのお昼ご飯を配膳する様子、暑い中では、自分より子供たちが暑くならないよう「うちわ」をあおぐ姿。「夏休み子どもサロン」は大人だけではなく、若い世代も交じって、一緒に運営している様子が伝わりました。参加している誰もが、この「夏休み子どもサロン」をわが地区の文化として受け止め、関わっているのだと感じます。閉校式では参加した6年生が「来年はボランティアで参加する」との声もありました。ありがとうございました。

横浜で開催された「TICAD9」に参加しました。テーマは「遺すこと、生きること—アフリカと日本の文化遺産が語る未来—」。「文化遺産は、建築などの有形のものととらえられるが、無形のもの、そこにある人間性や生き方も残すことが大切である。」

「新しい文化が入ってくると、これまでの文化が上塗りされてしまいがちであるが、自国の文化に関心を持つこと。誰のために、誰が、何を保存していくのかをしっかりと考えることが大切」。話を聞きながら、まずは自分が住んでいる地域のよさにしっかり気づくこと（気づかせていくこと）、そして実際に体験し、実感し、関わっていかうとする気持ちを持つこと（育てていくこと）が文化をそして国を守ることなのだと感じます。朝日東地区の活動もまさにそうなのだと強く思います。

実りの二学期、もう一度、自分のよさ、友達のよさ、地域のよさに気づきながら、そして、大切にしながら、充実した生活が送れるようにしてまいりたいと思います。